

国分寺市総合ビジョン 中心事業の数値目標等の見直しについて

■数値目標

※網掛け部分は見直し箇所

施策No.	施策名	中心事業	事業名	見直し	数値目標		理由	担当課
					指標名	目標値		
						令和6年度		
7	教育環境整備	①	市立小・中学校の校舎及び体育館の大規模修繕事業	見直し前	大規模修繕工事件数	15件	公立小学校35以下人学級に伴い、急速、教室不足となる学校の増築工事等を行う必要性が生じたことから、学校施設長寿命化計画を一部延伸したため。	教育総務課
				見直し後		12件		
13	多文化共生	①	行政情報等の多言語化等による情報発信強化事業	見直し前	多言語情報へのアクセス数	900件	令和3年度実績値が936件となり、令和6年度目標値を上回ったことから、実績値を踏まえて数値目標を見直したため。	人権平和課
				見直し後		1,330件		
13	多文化共生	③	国際化推進施策事業	見直し前	多文化共生ボランティア活動に対する意欲度	80%	令和3年度実績値が95%となり、令和6年度目標値を上回ったことから、実績値を踏まえて数値目標を見直したため。	人権平和課
				見直し後		98%		
20	健康づくり	①	健康増進情報発信事業	見直し前	「予防接種・子育て応援ナビぶんぶんロケット」の登録者数	3,000人	令和4年9月に「ぶんぶんロケット」の契約期間が満了となり、新たに「ぶんじ子育てナビ」を令和4年6月から稼働し、10月からは完全に移行したため。	健康推進課
				見直し後	「ぶんじ子育てナビ」の登録者数			
22	ごみ・リサイクル	①	(仮称)リサイクルセンター建設事業	見直し前	(仮称)リサイクルセンターの整備状況	「現清掃センター工場棟の解体工事、(仮称)リサイクルセンター建設事業者の選定」	第1段階の清掃センター事務所棟他の解体工事(令和5年度)及び第2段階の仮設処理施設の整備(令和6~7年度)について、より具体的なヒアリングを行い、事業者からの回答や現在の社会環境に対応した工事期間を確保したこと。また、第4段階の(仮称)リサイクルセンター建設においては、近年の建設費等の高騰を受け、概算事業費算定が難しい状況にあることから、着手時期について、建設コストの状況を一定期間観察を要する期間を設けたため。	環境対策課
				見直し後		「仮設処理施設の建設、現清掃センター工場棟解体事業者の選定」		

■事業名及び事業内容

※網掛け部分は見直し箇所

施策No.	施策名	中心事業	見直し	事業名	事業目標	事業内容	見直し理由	担当課
1	妊娠・出産・乳幼児支援	②	見直し前	出産・子育て応援(ゆりかご・こくぶんじ)事業	全ての妊婦に保健師等の専門職が面接を行い、心身の状態や家庭の状況を把握し、出産・育児の情報を提供することで、妊婦の不安軽減を図ります。	妊婦を対象として、妊娠期の過ごし方や市の母子保健サービスについての情報を提供します。また、これから迎える出産・育児の相談を受け、必要な場合は適切な支援につなげます。	ゆりかご・こくぶんじ事業として、妊婦面接を主に実施していた事業を拡大し、妊娠期～2歳頃までの家庭に対する支援を伴走的に実施する事業へ変更したため。	健康推進課
			見直し後	出産・子育て応援事業	妊娠期から出産・子育て期まで身近な相談に応じることで、心身の状態や家庭の状況を把握するとともに、出産・育児の情報を提供し、妊婦や子育て家庭の不安軽減を図ります。	妊娠期から出産・子育て期(2歳頃)までの家庭を対象に、その間の過ごし方や市の母子保健サービスについての情報提供、必要な経済的支援を一体で実施するとともに、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施します。		
20	健康づくり	①	見直し前	健康増進情報発信事業		30歳代等の働き盛り世代は、健康に関する情報を得ていない人が他世代に比べて多くなっています。スマートフォン等から登録できる情報提供サービス「予防接種・子育て応援ナビぶんぶんロケット」や市報・ホームページ等を活用し、市民が必要とする情報を適時受け取ることのできる情報環境を構築し、健康意識の向上を目指します。	令和4年9月に「ぶんぶんロケット」の契約期間が満了となり、新たに「ぶんじ子育てナビ」を令和4年6月から稼働し、10月からは完全に移行したため。	健康推進課
			見直し後			30歳代等の働き盛り世代は、健康に関する情報を得ていない人が他世代に比べて多くなっています。スマートフォン等から登録できる情報提供サービス「予防接種・子育て応援ナビぶんぶんロケット(令和4年9月で終了)」や健康増進・子育て支援アプリ「ぶんじ子育てナビ(令和4年6月から開始)」、市報・ホームページ等を活用し、市民が必要とする情報を適時受け取ることのできる情報環境を構築し、健康意識の向上を目指します。		